

授業科目名・形態	研究方法論 I	講義	必修・選択の別	必修
担当者氏名	岩間薫・水木暢子・佐藤純子・黒澤繭子	開講期	3年前期	単位数 1

### 【授業の主題】

看護における研究は、より質の高い看護ができるよう、新たな専門的知識・技術を創造し開発していくために重要である。したがって、看護研究の基本的概念や研究方法等を具体的に理解することは、看護教育においては極めて大切なことである。

### 【到達目標】

1. 研究の意味を理解する。
2. 研究における倫理的配慮について理解する。
3. 看護研究実践のための研究課題の発見の仕方、文献検索、研究計画の立て方、データの収集・分析、研究発表、論文のまとめ方、研究のクリティークに至る一連の研究過程を理解する。

### 【授業計画・内容】

- 第1回 研究の意味・研究と倫理的配慮 (水木暢子)
- 第2回 研究課題の発見・文献検討 (佐藤純子)
- 第3回 研究計画の立て方 (佐藤純子)
- 第4回 研究方法 (黒澤繭子)
- 第5回 データの収集と分析① 量的データ (黒澤繭子)
- 第6回 データの収集と分析② 質的データ (水木暢子)
- 第7回 論文構成とまとめ方・学会発表の仕方 (岩間 薫)
- 第8回 研究のクリティーク (岩間 薫)

### 【授業実施方法】

講義・演習

### 【授業準備】

一連の研究過程の理解を深めるため、また研究課題を発見できるようにするため、復習して、次回授業に備える。

### 【主な関連する科目】

研究方法論Ⅱ、統計学、保健統計学(選択)、看護研究、臨地実習

### 【教科書等】

黒田裕子：黒田裕子の看護研究 step by step、第5版、医学書院、2012.

### 【参考文献】

1. ホロウェイ、ウイラー、野口美和子監訳：ナースのための質的研究入門 研究方法から論文作成まで、第2版、医学書院、2006.
2. D. F. ポーリット、B. P. ハングラー、近藤潤子監訳：看護研究 原理と方法、第2版、医学書院、2010.
3. 小笠原知枝・松木光子編：これからの看護研究 基礎と応用、第3版、ヌーヴェルヒロカワ、2012.
4. N. バーンズ、S. K. グローブ、黒田裕子・中木高夫・逸見功監訳：バーンズ&グローブ 看護研究入門 評価・活用・エビデンスの生成、エンゼビア・ジャパン、2015.
5. 南裕子・野嶋佐由美編：看護における研究、第2版、日本看護協会出版会、2017.
6. 川村佐和子：ナーシング・グラフィカ 基礎看護学④ 看護研究、第3版、メディカ出版、2017.

### 【成績評価方法】

課題レポート 90%、授業への取り組み姿勢・出席状況 10%により総合的に評価する。

### 【学生へのメッセージ】

看護職を専門職として遂行していくためには、研究は欠かせないものです。ここで、看護研究の方法とともに、研究の倫理的配慮等についてもしっかりと学んでいきましょう。